

令和6年度 産業廃棄物税充当事業（使途別）

No	事業名	部局	課・室・公所	新規・継続	充当額（千円）
【事業者支援】 6事業					221,998
1	環境産業コーディネーター派遣事業	環境生活部	循環型社会推進課	継続	22,394
2	みやぎ産業廃棄物3R等推進事業	環境生活部	循環型社会推進課	継続	174,000
3	化学物質管理促進事業	環境生活部	環境対策課	継続	288
4	フードバンク支援事業	保健福祉部	社会福祉課	継続	2,454
5	みやぎの食材バリューチェーン構築プロジェクト （喜ばれる商品づくり支援事業）	農政部	食産業振興課	継続	6,262
6	循環型社会形成推進事業	環境生活部	循環型社会推進課	継続	16,600

No	事業名	部局	課・室・公所	新規・継続	充当額（千円）
【試験研究】 7事業					22,584
7	コーヒー粕を利用した果樹栽培における土壌改良方法及び マルチングによる雑草等抑制効果の検討	農政部	農業振興課 （農業・園芸総合研究所）	継続	3,515
8	きのご廃菌床を利用した野菜栽培資材の開発	農政部	農業振興課 （農業・園芸総合研究所）	継続	5,500
9	農地における汚泥肥料の施用基準設定事業	農政部	農業振興課 （農業・園芸総合研究所）	継続	4,000
10	堆肥の水稲育苗培土への利用	農政部	農業振興課 （古川農業試験場）	継続	3,091
11	堆肥の利用拡大に向けた「特殊肥料等入り指定混合肥料」の製造 及び利用方法の検討	農政部	畜産課	継続	1,131
12	特用林産産地振興推進事業（野外栽培菌床きのご普及推進事業）	水産林政部	林業振興課	継続	3,952
13	みやぎ由来の肥料増産加速化事業	農政部	みやぎ米推進課	新規	1,395

令和6年度 産業廃棄物税充当事業（使途別）

No	事業名	部局	課・室・公所	新規・継続	充当額（千円）
【普及啓発・環境教育】 5事業					19,520
14	循環型社会に貢献できる産業人材育成事業	教育庁	高校教育課（古川工業高校）	継続	2,710
15	循環型社会に貢献できる産業人材育成事業	教育庁	高校教育課（白石工業高校）	継続	2,523
16	循環型社会に貢献できる産業人材育成事業	教育庁	高校教育課（仙台二華高校）	継続	2,177
17	みやぎ県民大学推進事業（循環型社会講座）	教育庁	生涯学習課	継続	110
18	みやぎの3R普及啓発事業	環境生活部	循環型社会推進課	継続	12,000
No	事業名	部局	課・室・公所	新規・継続	充当額（千円）
【適正処理】 14事業					243,254
19	アスベスト対策事業	環境生活部	環境対策課	継続	3,580
20	災害時大気環境モニタリング体制整備事業	環境生活部	環境対策課	継続	8,796
21	産業廃棄物不適正処理対策事業	警察本部	生活環境課	継続	1,032
22	PCB廃棄物処理加速化事業	環境生活部	廃棄物対策課	継続	1,909
23	産業廃棄物処理業等管理システム導入事業	環境生活部	廃棄物対策課	継続	1,963
24	産業廃棄物不法投棄監視強化事業	環境生活部	廃棄物対策課	継続	21,369
25	産業廃棄物処理システム健全化促進事業	環境生活部	廃棄物対策課	継続	13,013
26	産業廃棄物適正処理監視指導員設置事業	環境生活部	廃棄物対策課	継続	36,279
27	産業廃棄物不適正処理対策交付金	環境生活部	循環型社会推進課	継続	21,752
28	産業廃棄物等処理実態調査事業	環境生活部	循環型社会推進課	継続	2,981
29	海岸漂着物等地域対策推進事業	環境生活部	循環型社会推進課	継続	2,680
30	産業廃棄物処理業イメージアップ推進事業 （産業廃棄物処理業と地域との共生等推進事業）	環境生活部	廃棄物対策課	新規	1,500
31	産業廃棄物処理業者と連携した災害廃棄物処理体制構築推進事業	環境生活部	廃棄物対策課	新規	1,400
32	産業廃棄物最終処分場整備事業	環境生活部	新最終処分場整備対策室	新規	125,000

【No.1】環境産業コーディネーター派遣事業

事業目的

県内事業者による産業廃棄物の3R等の取組について、環境産業コーディネーターが伴走型支援を行うことにより、本県における産業廃棄物の再資源化や再生資源の利活用等の向上を図り、循環型社会の形成を推進する。

予算

R6年度当初予算額	22,394千円
R5年度決算額	14,715千円
R4年度決算額	19,138千円

令和6年度事業内容

環境産業コーディネーターは、民間企業において製造業等の工程管理や品質管理、環境管理等に携わった経験を有する者で、企業訪問を通して環境に関する必要な情報を提供しながら、企業の産業廃棄物の3R等に関する取組を支援する。

1 情報収集等

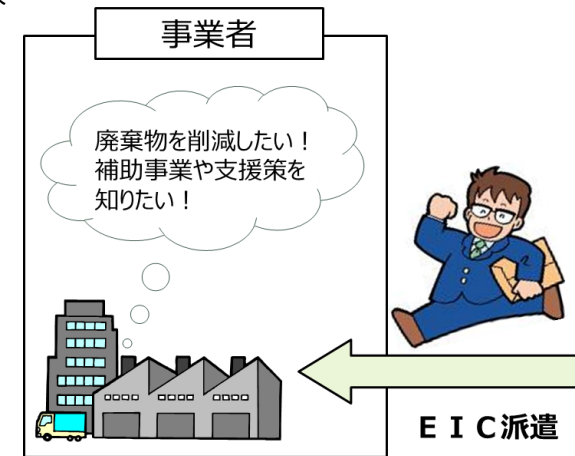
産業廃棄物の3R推進等に関する企業の課題やニーズを伺い、その改善や課題解決に向けて必要な助言、情報提供を行う。

2 マッチング支援（産産・産官・産学）

企業・行政・研究機関等における情報や技術、ニーズ等の橋渡しを行い、廃棄物の3R推進等の課題に取り組む活動を支援する。

3 エコフォーラム活動支援

複数の企業が連携することで、産業廃棄物の3R推進等の課題を解決できるように、その連携活動の立ち上げや課題解決への活動を支援する。



事業効果

企業訪問数（単位：件）

R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
473	459	600

担当部署

環境生活部 循環型社会推進課

TEL : 022-211-3207

E-mail : junkanj@pref.miyagi.lg.jp

URL : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-s/r04eic.html>

【No.2】みやぎ産業廃棄物 3 R 等推進事業

事業目的

県内の事業活動における産業廃棄物の 3 R や適正処理、利活用等の取組を促進し、循環型社会の形成を推進する。

予算

R6年度当初予算額	174,000千円
R5年度決算額	123,504千円
R4年度決算額	175,882千円

令和 6 年度事業内容

1 みやぎ産業廃棄物 3 R 等推進事業

(1) 設備整備事業への補助 …①

産業廃棄物の 3 R 等に資する設備等の整備事業に要する経費の一部を補助する。

(2) 研究開発事業への補助 …②

3 R 等技術・製品の事業化調査、研究開発、販路開拓に要する経費の一部を補助する。

2 宮城県グリーン製品の普及拡大 …③

環境に配慮された製品を「宮城県グリーン製品」に認定し、普及啓発を図る。

3 産業廃棄物中間処理施設見学受入支援事業 …④

産業廃棄物処理施設に対する理解促進のため、県内の事業者が実施する見学受入等に向けた施設整備や備品の購入に要する費用の一部を補助する。



▲廃太陽光パネルの処理設備



▲XRF選別装置



宮城県グリーン製品

▲宮城県グリーン製品認定マーク

事業効果

(単位：件)

担当部署

	指標	R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
①	補助事業者数	5	10	14
②	補助事業者数	5	6	9
③	認定製品数	105	107	111
④	補助事業者数	—	—	3

環境生活部 循環型社会推進課

TEL : 022-211-3207

E-mail : junkanj@pref.miyagi.lg.jp

URL :

①② <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/3r-suishin-r6.html>

③ <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/green.html>

④ <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/kengaku-r6.html>

【No.3】化学物質管理促進（PRTR）事業

事業目的

化学物質排出把握管理促進法に基づくPRTR届出に関し、本県では県独自の集計を行い、必要な情報提供を行うとともに、「宮城県化学物質適正管理指針」に基づき、事業者による化学物質の安全管理を徹底し、県民の理解を深める。

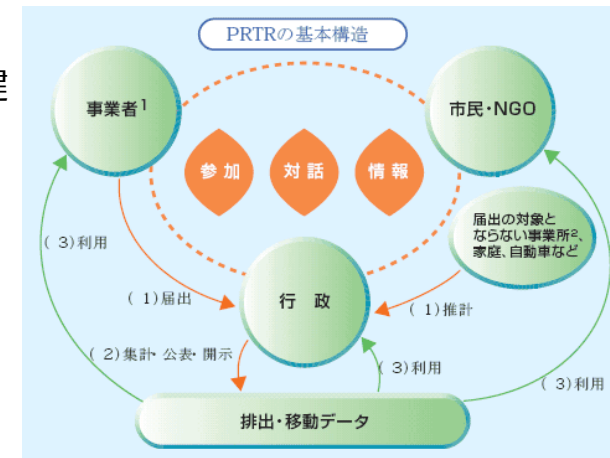
予算

R6年度当初予算額	288千円
R5年度決算額	129千円
R4年度決算額	294千円

令和6年度事業内容

PRTR届出関係事務

会議や研修会に参加し、PRTRに関する理解を深めるとともに、PRTRの届出窓口である保健所への需用費及び役務費の令達を行い、事業が円滑に進むよう支援する。



環境省ホームページより

事業効果

<廃棄物移動量> (単位：トン)

R2年度	R3年度	R4年度
642	766	775

担当部署

環境生活部 環境対策課

TEL : 022-211-2667

E-mail : kantaie@pref.miyagi.lg.jp

URL : <https://www.pref.miyagi.jp/site/prtr/list1847-5427.html>

【No.4】フードバンク支援事業

事業目的

生活困窮者自立支援制度では、食料支援に関する事業が制度化されていない現状にある。しかし、生活困窮者に食料支援を行う団体において、食料提供先の確保に苦勞している団体が存在する。そのため、そのため県内でフードバンク活動の周知等を行い、生活困窮者や子ども食堂への十分な食料提供が行える体制づくりを目指すことを目的とした事業を行うもの。

予算

R6年度当初予算額	2,454千円
R5年度決算額	1,984千円
R4年度決算額	1,473千円

令和6年度事業内容

- (1) 地域におけるフードバンクに対する理解の醸成
- (2) 新たな食品提供協力事業者の開拓
- (3) 食品保管場所の確保
- (4) フードドライブの実施
- (5) 県内フードバンク活動団体連携会議の開催

フードドライブ活動の様子



関係団体との意見交換の様子

事業効果

<指標の内容をご記入ください> (単位：フードドライブ実施日数)

R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
490	340	350

担当部署

保健福祉部 社会福祉課

TEL : 022-211-2517

E-mail : syahuks@pref.miyagi.lg.jp

URL : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/syahuku>

[No.5] みやぎの食材バリューチェーン構築プロジェクト（食材王国みやぎ喜ばれる商品づくり支援事業）

事業目的

これまで生産、選別、調製過程で廃棄されていた農林水産物の食品ロスの削減や製造工程の歩留まりの向上、賞味期限の延長技術等に取り組む県内食料品製造業者に対して、商品開発に必要な経費の一部を補助することで、産業廃棄物等の削減を図るもの。

予算

R6年度当初予算額	6,262千円
R5年度決算額	4,110千円
R4年度決算額	4,661千円

令和6年度事業内容

県内の食料品製造業者等が行う地域の食材等を活用した、産業廃棄物等の削減に資する商品開発等に係る経費の補助を行う。

（持続可能社会に向けた商品づくり事業）

- 1 補助限度額 3,000千円
- 2 補助率 1 / 2 以内
- 3 補助対象経費の内容

- (1) 謝金（外部専門家への謝金）
- (2) 旅費（商品開発に必要なマーケティング活動費、交通費及び宿泊費）
- (3) 研究開発費（原材料費（自社からの仕入分は除く）、分析費、機械リース料など）
- (4) 調査研究費（マーケティング活動に係るサンプル作成費、マーケティング委託費など）
- (5) 庁費（事業実施に直接必要な会場費やマーケティングのための商談会参加費など）

当事業で開発された商品の例

(1) 廃棄されていた牡蠣、帆立のエキスを使用时開発した商品



(2) 今まで規格外品として廃棄されていたトマトを使用时開発した商品



事業効果

補助対象事業者数（単位：件）

R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
7者	7者	4者

担当部署

農政部 食産業振興課

TEL : 022-211-2812

E-mail : s-business@pref.miyagi.lg.jp

URL : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/syokushin/>

【No.6】循環型社会形成推進事業

事業目的

宮城県循環型社会形成推進計画（第3期）を継続的に普及啓発していくための事業や、最終処分場が地域と共生していくための事業などを実施する。

予算

R6年度当初予算額	16,600千円
R5年度決算額	14,420千円
R4年度決算額	13,828千円

令和6年度事業内容

宮城県循環型社会形成推進計画（第3期）に基づき、循環型社会形成の推進に資する普及啓発事業等を行う。

（1）産業廃棄物最終処分場立地地域共生促進支援事業

最終処分場が地域と共生していくための事業（緑化事業等）に対して補助金を交付する。
（補助率1/2）

（2）宮城県3R普及啓発用教材製作業務

廃棄物の3Rの取り組みを学ぶ教材（抽選付きリーフレット）を、小学校を通じて県内小学生に配布し、ごみの減量化等を促進する。

（3）3R普及啓発・食品ごみの削減啓発事業

県内の環境イベントにブース出展し3R普及啓発を行う。
また10月30日の「みやぎ県民食べきりの日」にあわせて、県内のフードバンク団体と協同でフードドライブイベントを開催する。



事業効果

3R教材抽選応募数（単位：通）

R4年度(実績)

1,581

R5年度(実績)

940

担当部署

環境生活部 循環型社会推進課

TEL : 022-211-2649

E-mail : junkanr@pref.miyagi.lg.jp

URL : (1) <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/tiikikyouseihojokin.html>
(2、3) <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/3rtop.html>

【No.7】コーヒー粕を利用した果樹栽培における土壌改良方法及びマルチングによる雑草等抑制効果の検討

事業目的

動植物性残渣のコーヒー粕を用いて、モモ及びイチジクの改植において問題となっている連作障害症状抑制のための土壌改良方法を検討する。また、リンゴ樹冠下にマルチングすることにより、雑草やリンゴ台木からの新梢（ひこばえ）発生抑制効果についても検討する。

予算

R6年度当初予算額	3,515千円
R5年度決算額	3,461千円
R4年度決算額	3,394千円

令和6年度事業内容

【試験1：土壌改良方法の検討】

コーヒー粕を含む3種類混合培土（1／3区）とコーヒー粕を含まない対照区の2区を設置し、ほ場に定植した2年目のモモ及びイチジクの樹体生育の違いを検討する。

【試験2：コーヒー粕の地表面マルチング効果の検討】

リンゴ樹体株元から樹冠下に厚さ20cm程度でコーヒー粕を敷いた場合の雑草抑制効果及び樹体への影響を調査する（対照区はコーヒー粕マルチング無し）。

【試験3：コーヒー粕のリンゴ台木からのひこばえ発生抑制効果の検討】

マルバ台を用いているリンゴを試験樹として、台木部分を覆うようにコーヒー粕を厚さ30cm程度で敷き、ひこばえの発生状況を確認する（対照区はコーヒー粕の敷設無し）。



事業効果

<コーヒー粕のリサイクル量>（単位：トン）

R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
0.8	2.3	1.5

担当部署

農政部 農業振興課（農業・園芸総合研究所 花き・果樹部）

TEL：022-211-2837
(022-383-8134)

E-mail：marc-ff@pref.miyagi.lg.jp

URL：https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/res_center/index.html

【No.8】きのご廃菌床を利用した野菜栽培資材の開発

事業目的

宮城県は、ぶなしめじ生産量3,173t（全国5位）、えのきたけ1,666t（全国6位）、なめこ907t（全国8位）と産出量全国上位の林産物が多いが、きのご類生産に伴い大量に発生する産業廃棄物「廃菌床」の処理が現場では問題となっている。主要なきのご5品目だけで約11万tと推定される（平成30年度きのご類生産量からの推定値）。

本事業では、堆肥化処理後の廃菌床を利用して野菜の養液栽培で大量に必要とされる有機質培地としてリサイクル可能か検討する。

予算

R6年度当初予算額	5,500千円
R5年度決算額	5,233千円
R4年度決算額	5,408千円

令和6年度事業内容

現在、イチゴやトマト等の果菜類の養液栽培では、ココナツヤシの殻を原料とした「ヤシガラ培地」を使用するのが一般的である。通常ヤシガラ培地は5年以上連用するため、廃菌床堆肥が培地として連用可能か栽培試験を実施する。これまでの栽培試験で4年の連用で問題ないことを確認している。

1 イチゴの栽培試験

イチゴについては、ヤシガラ培地に廃菌床50%混和または廃菌床100%として5年連用した場合、慣行的に利用されるヤシガラ培地と比較して、商品果率、総収量、総果数に差があるか調査する。

2 ナス、キュウリの栽培試験

ナス、キュウリ栽培ヤシガラ培地に廃菌床50%混和または廃菌床100%として5年連用した場合、慣行的に利用されるヤシガラ培地と比較して、果実数、果実サイズ、収量、生育に差があるか調査する。

3 製品化の検討

一般販売に向け、廃菌床堆肥を袋詰めした製品化を検討する。



廃菌床100%培地4年連用区のイチゴ

事業効果

<きのご廃菌床>（単位：t）

R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
12	12	12

担当部署

農政部 農業振興課（農業・園芸総合研究所 野菜部）

TEL：022-211-2837
(022-383-8135)

E-mail：marc-ya@pref.miyagi.lg.jp

URL：https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/res_center/index.html

【No.9】農地における汚泥肥料の施用基準設定事業

事業目的

有効活用が期待される肥料の一つとして、石巻市の水産加工協同排水処理施設から発生する活性汚泥を原料とした汚泥肥料（令和5年10月から菌体リン酸肥料として登録）を主対象とし、農作物に対する肥料としての有効性や、作物体内および土壌中への重金属成分の蓄積動向（農地土壌の亜鉛濃度基準値 120mg/kg）を調査し、施用基準を策定する。

併せて、汚泥肥料は原料や処理方法によって分量や肥料効果が多様であることから、上記の水産加工由来汚泥に加え、堆肥化、炭化等異なる原料や処理方法に由来する他の汚泥肥料についても検討する。

予算

R6年度当初予算額	4,000千円
R5年度決算額	3,939千円
R4年度決算額	- 千円

令和6年度事業内容

1) 各種汚泥肥料の主要成分濃度および肥効の解析

- 原料や肥料化処理方法が異なる数種の汚泥肥料を供試し、主要肥料成分や亜鉛等の重金属の濃度を調査する。
- 各肥料に含まれる窒素等の養分について、培養実験や抽出法、ポット試験等により有効態割合を把握する。

2) 汚泥肥料由来成分の作物体および土壌中の動態解析

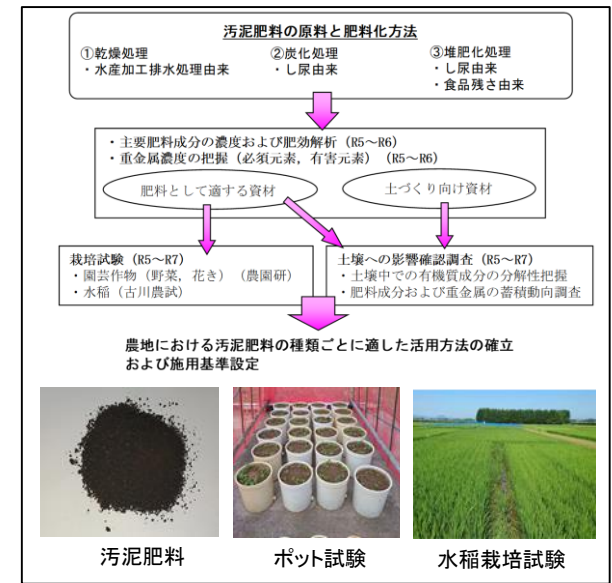
- 数種の汚泥肥料を多量施用した大型ポットによる栽培試験を行い、作物体および土壌中への肥料由来成分（重金属を含む）の蓄積動向を調査する。

3) 園芸作物における汚泥肥料の活用方法の確立

- 主要園芸作物（野菜、花き）において、汚泥肥料の肥効を活用した栽培試験を行い、肥料としての有効性を検証する。

4) 水稲栽培における汚泥肥料の活用方法の確立

- 水稲栽培において、汚泥肥料の肥効を活用した栽培試験を行い、肥料としての有効性を検証する。



事業効果

<汚泥肥料出荷量> (単位：トン)

R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
195	195	200

担当部署

農政部 農業振興課 (農業・園芸総合研究所 園芸環境部)

TEL : 022-211-2837
(022-383-8133)

E-mail : marc-ek@pref.miyagi.lg.jp

URL : https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/res_center/

【No.10】堆肥の水稲育苗培土への利用

事業目的

県内の堆肥センターで産出される各種堆厩肥を育苗培土へ混合し、その病害（もみ枯細菌病）防除効果を確認することで、育苗時に使用する農薬成分数の節減および未利用堆厩肥の利用促進に資する。

予算

R6年度当初予算額	3,091千円
R5年度決算額	2,758千円
R4年度決算額	2,755千円

令和6年度事業内容

1 堆肥による水稲病害抑制効果の年次変動の調査

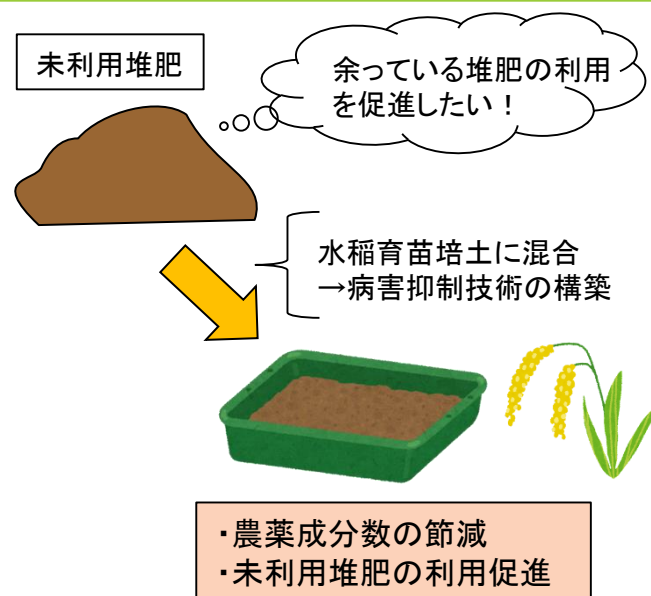
過去4カ年の試験の結果、水稲の育苗時に堆肥を覆土に30%混合することで、もみ枯細菌病の病害抑制効果が確認されたことから、年次変動を引き続き検討する。

2 病害抑制メカニズムの検討

堆肥内の微生物叢の多様性の高さが病害抑制効果に寄与していることが示唆されたため、もみ枯細菌病発病後の覆土内の細菌叢を次世代シーケンサーを用いて解析し、微生物叢の変化と病害抑制効果の関係を検討する。

3 実用化に向けた調査

播種機を用いて覆土した場合の作業性、堆肥が苗質に及ぼす影響について調査する。



事業効果

堆肥の利用量（単位：t）

R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
0	0	0.005

担当部署

農政部 農業振興課（古川農業試験場 作物環境部）

TEL：022-211-2837
(0229-26-5107)

E-mail：fn-sk@pref.miyagi.lg.jp

URL：<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hk-nousi/>

【No.11】堆肥の利用拡大に向けた「特殊肥料等入り指定混合肥料」の製造及び利用方法の検討

事業目的

- 堆肥の利用促進に向け、令和2年度の肥料制度の見直しで新設された「特殊肥料等入り指定混合肥料」の普及拡大を図るため、堆肥と化学肥料の配合内容や加工・製造工程及び労働費を含めた新肥料導入時のコストを検討するもの。

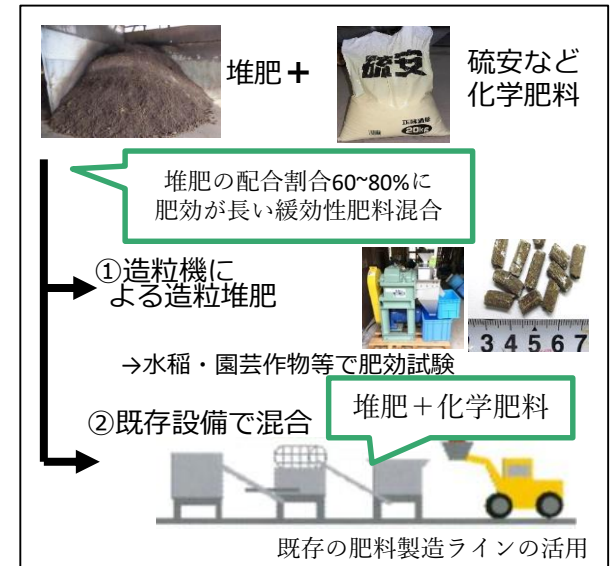
予算

R6年度当初予算額	1,131千円
R5年度決算額	1,061千円
R4年度決算額	936千円

令和6年度事業内容

◎ 関係機関と連携しながら、指定混合肥料の普及拡大を図るため、耕種農家が利用しやすいように追肥回数減等の省力化を図るための配合内容や肥料原料やコストを検討。

- 堆肥と化学肥料の配合内容の検討による肥料の試作
 - 省力的かつ化学肥料の利用量低減を図るため、堆肥割合が80%以上の肥料の試作。
- 散布しやすい加工・製造工程の検討
 - 攪拌混合程度で造粒と加熱乾燥しない混合肥料の保管時の品質確認。
- 試作肥料の植物生育試験による肥効の検討
 - 古川農試で水稻、農園研で園芸作物（カボチャ・寒締めホウレンソウ・キク）、畜試で植物生育試験に加え、加美町で長ネギなどの野菜の実証試験実施。
- 労働費を含めた新肥料導入によるコストの検討
 - 新肥料導入で労働負担やコスト軽減が図れるか、慣行法と比較。



事業効果

<家畜ふん尿利用割合の増加> (単位：%)

R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
50%	80%	80%	80%

担当部署

農政部 畜産課

TEL : 022-211-2853

E-mail : tikusanpp@pref.miyagi.lg.jp

URL : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/tikusanka/>

【No.12】特用林産産地振興推進事業(野外栽培菌床きのこ普及推進事業)

事業目的

木くずや穀類の精製過程でできる廃棄物等に栄養を添加した「菌床」を使った宮城県のきのこ生産を拡大することにより、一次産業由来の廃棄物のリサイクルを推進するとともに、低コスト栽培手法の検証と放射性物質等安全性の確認、宮城県産きのこの更なる認知度向上に向けた新品種開発を通して、震災以降低迷した県内きのこ生産の復興に貢献する。

予算

R6年度当初予算額	3,952千円
R5年度決算額	4,467千円
R4年度決算額	2,843千円

令和6年度事業内容

県登録品種であるハタケシメジ「LD2号」を中心に、「菌床」を使ったきのこ生産について、生産者への指導や原種菌の供給、野外栽培新品種の開発のための栽培試験の実施などを行う。

1 生産者への栽培指導

ハタケシメジ栽培で従来から行われている野外栽培法や当事業内でマニュアルを作成した「簡易施設栽培法」などについて、生産者の現地施設に赴き、周知や指導を行うことでのこ生産を支援する。

2 原種菌の供給

県登録品種について、性能確認試験により発生するきのこの形質や収量が良好であることを確認した原種菌を種菌メーカーに供給し、ハタケシメジの生産振興を図る。

3 野外栽培新品種の開発

現場のニーズに応じたハタケシメジ野外栽培新品種について、現地での栽培試験を実施することで候補株の絞り込みを進め、より優良な菌株を選定し更なる生産拡大を目指す。



ハタケシメジの簡易施設栽培



性能確認試験の様子

事業効果

木くずの再資源化（単位：m³） ※生産量調査の結果を反映

R3年度(実績)	R4年度(実績)	R6年度(計画)
198.3	201.2	200.0

担当部署

水産林政部 林業振興課

TEL : 022-211-2911

E-mail : rinsins@pref.miyagi.lg.jp

URL : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ringyo-sk/>

【No.13】みやぎ由来の肥料増産加速化事業

事業目的

世界情勢の変化をきっかけに令和4年度から続く肥料価格高騰の影響を受けにくい生産基盤づくりに向け、化学肥料の使用量や肥料コストの低減を図るため、地域未利用資源となっている県内の下水汚泥等の実態や品質を明確にするとともに、下水汚泥等を活用した肥料の製造及び供給体制を整備していくことを目的とする。

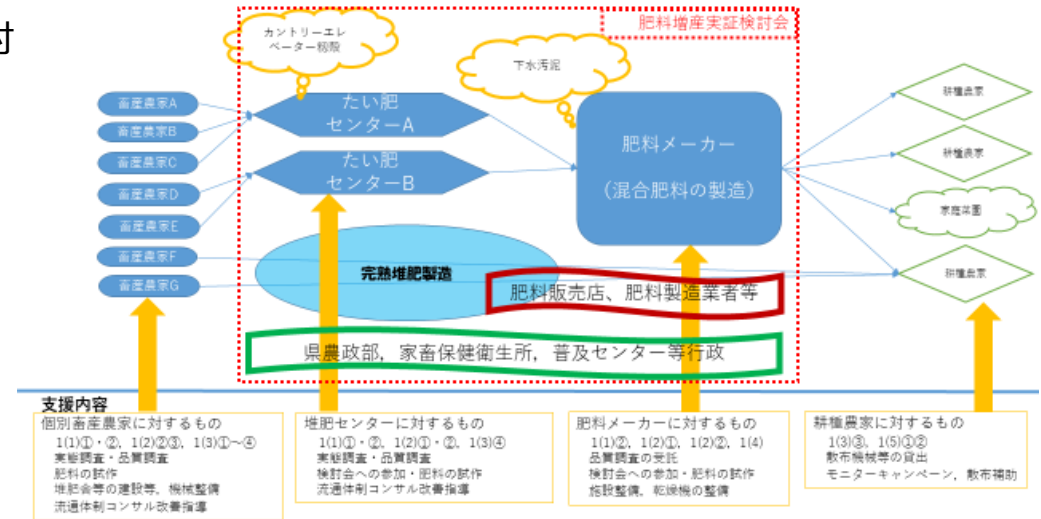
予算

R6年度当初予算額	1,395千円
R5年度決算額	- 千円
R4年度決算額	- 千円

令和6年度事業内容

- (1) 下水汚泥や未利用資源の有効活用に向けた調査・検討
 - ① 肥料原料として使用するための品質確認調査
 - ② ①で得られた試料を活用した肥料の試作
- (2) 地域未利用資源の活用促進に向けた取組
内容：肥料増産に向けた検討組織の設置、運営

みやぎ由来の肥料増産加速化事業の概要図



事業効果

〈県内の下水汚泥等未利用資源の削減量〉（単位：t/年）

R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
-	-	0

担当部署

農政部 みやぎ米推進課

TEL : 022-211-2845

E-mail : miyamai-kt@pref.miyagi.lg.jp

URL : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/noenkan/index.html>

【No.14～16】循環型社会に貢献できる産業人材育成事業

事業目的

産業廃棄物の再利用・有効利用を含めた、循環型社会に貢献できる技術者・技能者を育成する。また、廃棄物の発生抑制や、リサイクル産業の振興及び循環型社会の必要性について、専門高校生等として取り組むことのできる実践や基礎的研究を各関係団体からの支援を受け実践する。

予算

R6年度当初予算額	7,410千円
R5年度決算額	6,273千円
R4年度決算額	6,124千円

令和6年度事業内容

○産業廃棄物の再利用・有効活用を含めた循環型社会に貢献できる技術者・技能者養成

解体木造建築物の構造材再利用促進のための基礎的研究を行い、産業廃棄物の有効的な活用方法を考察していく。また、建築現場及び各種施設や工場の見学を通して、産業廃棄物の処理状況や再利用及び活用状況について学習し、持続可能性について考えることによって、地域環境に配慮した未来の産業活動に貢献できる人材の育成を図る。（古川工業高、白石工業高）

○東南アジアの廃棄物・水問題解決のための取組

東南アジアではトイレの整備が遅れていることから、その場で汚物を処理できるバイオトイレの研究・開発やプラスチック容器などの廃棄物抑制に関わる研究等により、その成果を地域等に還元し、循環型社会の形成に寄与できる人材の育成を図る。（仙台二華高）



木製玩具の製作



木材加工技術の向上に関する応用講習

事業効果

関連授業時数（単位：時間）

R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
650	703	720

担当部署

教育庁 高校教育課

TEL : 022-211-3625

E-mail : ko-career@pref.miyagi.lg.jp

URL : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/koukyou/car-top.html>

【No.17】みやぎ県民大学推進事業（循環型社会講座）

事業目的

県民の多様な学習ニーズに応えるため、多様な学習機会を提供するみやぎ県民大学において、循環型社会講座を開講し、3R・循環型社会の形成推進に関する県民の意識醸成を図る。

予算

R6年度当初予算額	110千円
R5年度決算額	110千円
R4年度決算額	89千円

令和6年度事業内容

令和6年度は2件の循環型社会講座を行う。

1 東北大学大学院環境科学研究科「気候変動と生活から考える環境」

地球温暖化と温室効果ガス削減/下水ウイルス情報の社会における活用とその効果
気候変動から考える水災害・水資源問題/途上国の水環境問題と対策
環境保全システムの脱炭素化

2 東北大学金属材料研究所「持続可能な未来社会を創る材料の科学と技術」

超伝導と強磁場が拓く未来社会/蓄電デバイス電極材料の高性能化
核融合エネルギー開発の状況とその実現に向けた材料課題
太陽電池用多結晶シリコンの結晶成長/磁性材料研究の基礎と応用



事業効果

受講者数（単位：人）

R4年度(実績) R5年度(実績) R6年度(計画)

23 34 70

担当部署

教育庁 生涯学習課

TEL : 022-211-3653

E-mail : syogaks@pref.miyagi.lg.jp

URL : <https://www.manabino-miyagi.com/>

【No.18】みやぎの3R普及啓発事業

事業目的

廃プラスチックや食品ごみの削減等に関する事業により、県民や事業者の3Rに配慮した行動の定着を促し、拡大していくための普及啓発を実施する。

予算

R6年度当初予算額	12,000千円
R5年度決算額	7,700千円
R4年度決算額	10,681千円

令和6年度事業内容

(1) 3RラジオスポットCM

3R推進月間(10月中)を中心に、廃棄物の3Rに資するラジオスポットCMを放送することにより、3Rに関する知識の普及啓発と実践を事業者や県民に呼びかける。

(2) みやぎの3R推進事業

3R推進月間に合わせ、宮城県内のスーパーマーケット等の小売事業者や各種団体と協力し、3Rに関する知識の普及啓発と実践を事業者や県民に呼びかける。

(3) 3R広報事業

食品ロス削減についての普及啓発を図るため、広報紙「みやぎ県政だより」への掲載やテレビCM放送及びパンフレットの作成による広報を行う。

(4) 3R補助金活用施設見学促進事業

補助金を活用して見学施設を整備した産業廃棄物処理施設に対し、小学生による施設見学を実施する。



事業効果

テレビCM視聴率※ (GRP: 世帯視聴率、PRP: 個人視聴率)
※視聴率の指標に変更あり

R4年度(実績)	R5年度(実績)
501.5% (GRP)	283% (PRP)

担当部署

環境生活部 循環型社会推進課

TEL : 022-211-2649

E-mail : junkanj@pref.miyagi.lg.jp

URL : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/3rtop.html>

【No.19】アスベスト対策事業

事業目的

アスベスト含有建材を使用する建築物に係る違法解体工事をなくすため、関係機関が連携したパトロールを実施し、関係法令の遵守を指導し、廃石綿等の廃棄物の適正処理を推進する。

また、廃棄物処理施設近傍や特定粉じん排出等作業が行われる解体現場、被災地等でアスベストモニタリングを行い、アスベストの飛散状況を確認し、適正処理の状況把握等を行う。

予算

R6年度当初予算額	3,580千円
R5年度決算額	2,208千円
R4年度決算額	2,310千円

令和6年度事業内容

(1) 違法行為実態の把握

建設リサイクル法に基づく解体工事の届出等をもとに、大気汚染防止法、建設リサイクル法、労働安全衛生法を所管する関係機関が連携し、合同パトロール等を実施する。

(2) アスベストモニタリング

不適正なアスベスト処理による大気汚染状況を把握するため、産業廃棄物処理施設周辺、解体現場周辺、産業廃棄物の不適正処理が疑われる現場及び一般環境における大気中のアスベスト濃度を測定する。

(3) 普及啓発

解体工事における飛散防止対策、廃石綿等の適正処理等の周知啓発のためのリーフレットを作成、配布する。



解体・改修を行う建築物等の所有者の方へ

アスベスト(石綿)飛散防止の配慮していますか?

石綿による健康被害とみられている中規模の世帯は年々増えつつあります。2017年に被災地で発生された粉じん305名で、1995年の倍以上になっています。

以下の配慮が義務づけられています

- 元請業者への情報提供**
 - 石綿の使用状況等が確認できる書類の情報提供
 - 石綿除去の工事を行う際、撮影許可などの配慮
- 費用負担工期への配慮**
 - 事前調査にかかるとの費用負担
 - 職工業者が適切な調査、工事をできるように協力

解体・改修等前に、アスベストがあるか事前調査が必要です！

元請業者又は自主施工等は、事前調査を行った際には、調査の結果を（一定規模以上の場合は）経過措置等に基づき報告しなければなりません。これを怠った場合は過剰な検査をされた場合には、罰則の対象となります。

環境生活部 環境対策課

事業効果

解体現場パトロール実施箇所数（単位：箇所）

R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
219	263	※

担当部署

環境生活部 環境対策課

TEL : 022-211-2665

E-mail : kantait@pref.miyagi.lg.jp

URL : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-t/>

※ 解体等現場件数に応じて対応

【No.20】災害時大気環境モニタリング体制整備事業

事業目的

大規模災害発生時に半壊及び一部損壊家屋、事業場等の解体に伴う産業廃棄物(以下「災害に伴う産業廃棄物」という。)の生活環境への影響を確認するため、大気環境測定車を用いて、発災直後の大気環境を測定し、その結果を公表するとともに、産業廃棄物の適正処理に係る指導に活用する。

予算

R6年度当初予算額	8,796千円
R5年度決算額	7,333千円
R4年度決算額	6,811千円

令和6年度事業内容

産業廃棄物処理施設周辺及び固定局未設置地域において、大気移動測定車による大気環境測定を実施する。また、固定局未設置地域における測定結果を公表し、周辺住民の不安解消を図る。

1 測定項目

常時監視項目として、**SO₂、NO_x、O_x、SPM、PM_{2.5}、CO、気象**

※災害発生時は、上記に追加して、有害大気汚染物質、ダイオキシン類、アスベストを測定する。

2 測定場所及び測定日数

栗原市	7日	七ヶ浜町	83日
多賀城市	129日	気仙沼市(※)	32日

※工事に伴う固定測定局休止中の代替測定として活用



事業効果

移動測定車稼働日数(単位:日)

R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
243	242	251

担当部署

環境生活部 環境対策課

TEL : 022-211-2665

E-mail : kantait@pref.miyagi.lg.jp

URL : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-t/>

【No.21】産業廃棄物不適正処理対策事業

事業目的

廃棄物の不適正処理（不法投棄等）事案について、各種届出、相談受理、事件認知時等にタイムリーかつ効果的な対応を推進し、不適正処理事案の早期解決を図る。

予算

R6年度当初予算額	1,032千円
R5年度決算額	1,347千円
R4年度決算額	1,014千円

令和6年度事業内容

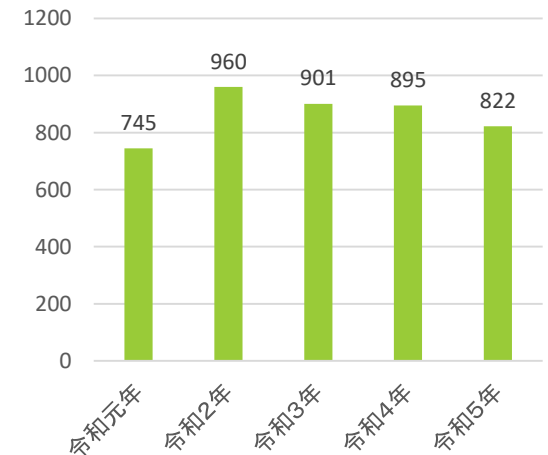
1 事案認知時におけるタイムリーな対応

国民の廃棄物事案に対する関心が高く、警察で受理している事件、相談件数は高水準で高止まりしており、マンパワーでの対応に限界がある中、監視カメラ等の装備資機材の運用により効率的な監視活動及び捜査活動を行う。

2 事件検挙等による抑止効果

事案認知時において、装備資機材を活用したタイムリーかつ効果的な捜査を推進し、早期解決、検挙に結びつけることにより、社会に警鐘を鳴らすとともに、廃棄物の不適正処理を惹起する者の敢行抑止を図る。

【相談件数と情報件数の合計】



事業効果

廃棄物処理法違反検挙状況（単位：件）

R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
119	128	150

担当部署

宮城県警察本部 生活安全部 生活環境課

TEL : 022-221-7171

URL : <http://www.police.pref.miyagi.jp>

【No.22】PCB廃棄物処理加速化事業

事業目的

PCB廃棄物は法により処分の期限が定められており、県では期間内の全量処分に向けた各種取組を実施している。本事業においては、認識の無いままPCB使用製品等を保有している事業者の調査や、適正処理が困難と認められる低濃度PCB廃棄物保管事業者への支援を通じ、PCB廃棄物の処理の加速化を図ることを目的としている。

予算

R6年度当初予算額	1,909千円
R5年度決算額	1,097千円
R4年度決算額	4,418千円

令和6年度事業内容

法人の解散等により、やむを得ず低濃度PCB廃棄物を保管している個人に対し、処理費用又はPCB含有有無の分析費用の助成を行う。

(1)低濃度PCB廃棄物処理事業支援事業補助金

法人の解散等により低濃度PCB廃棄物を保管することとなった個人または実質的に廃業状態にある法人に対し、処理費（運搬費＋処分費）の95%を補助する。

(2)低濃度PCB廃棄物分析費用補助事業補助金

法人の解散等により低濃度PCB廃棄物を保管することとなった個人または実質的に廃業状態にある法人に対し、当該廃棄物を処理するために必要となるPCB含有分析の費用について、その50%を補助する。



事業効果

低濃度PCB廃棄物の処理困難者の処理済率（単位：％）

R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
76	86	87

担当部署

環境生活部 廃棄物対策課

TEL : 022-211-2463

E-mail : haitaig@pref.miyagi.lg.jp

URL : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/haitai/index.html>

【No.23】産業廃棄物処理業等管理システム導入業務

事業目的

廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び使用済自動車の再資源化等に関する法律に基づく許可・登録業者並びに関連施設の情報をデータベース化したシステムを構築することで、許可・登録事務の効率化や関係機関の情報共有を進め、廃棄物の適正処理化を図るもの。

予算

R6年度当初予算額	1,963千円
R5年度決算額	1,958千円
R4年度決算額	12,430千円

令和6年度事業内容

- 1 処理業者の許可・登録事務
産業廃棄物処理業者等管理システムを用いて新規・更新・変更等の許可事務を効率的に実施する。
- 2 産業廃棄物処理業等管理システム操作研修会
新たに廃棄物業務に携わる職員に対し、当該システムの操作方法等の研修会を実施する。
- 3 システムの保守・修正
法律の改正や利用者からの要望への対応、より効率的・合理的なシステムにするための修正等を委託により実施する。



事業効果

データベース化した産業廃棄物処理業者等（単位：件）

R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
6,021	6,219	6,300

担当部署

環境生活部 廃棄物対策課

TEL : 022-211-2648

E-mail : haitais@pref.miyagi.lg.jp

URL : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/haitai/index.html>

【No.24】産業廃棄物不法投棄監視強化事業

事業目的

不適正処理・不法投棄事案の早期把握、拡大防止を図るため、従来の不法投棄対策に加え、監視強化を中心とした各種取組みを進めることにより、不適正処理・不法投棄の根絶を目指す。また、県民一人一人の廃棄物の適正処理に関する意識を一層高めるため、不法投棄防止に係る普及啓発事業を実施する。

予算

R6年度当初予算額	21,369千円
R5年度決算額	10,522千円
R4年度決算額	6,702千円

令和6年度事業内容

【業務内容】

(1) 普及啓発

- ①不法投棄防止啓発WEB広告掲載事業
- ②不法投棄防止啓発用資材作成

(2) 監視強化

- ①監視カメラ・ドローンによる不法投棄監視

(3) 違反行為に対する迅速・厳格な対応

- ①不適正処理に対する委託業務
 廃棄物分析業務、測量業務、環境への支障状況等調査業務、重機開削業務
 産廃ガードマンによる巡回パトロール、民間ヘリコプターによるスカイパトロール



◀ 廃棄物分析業務における試料採取の様子



◀ 普及啓発交通広告（JR東日本、仙台市営地下鉄）※R5事業

事業効果

県内10t以上の大規模な不法投棄・不適正処理事案の産業廃棄物残存量
 (単位：t)

R4年度(実績)

R5年度(実績)

R6年度(計画)

66,026

調査中

未定

担当部署

環境生活部 廃棄物対策課

TEL : 022-211-2467

E-mail : haitaif@pref.miyagi.lg.jp

URL : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hitai/index.html>

【No.25】産業廃棄物処理システム健全化促進事業

事業目的

排出事業者等の適正処理に向けた普及啓発を目的とした講習会の開催や産業廃棄物処理実績報告の公表など、処理業者や排出事業者がそれぞれの処理責任を果たすことができる健全な処理システムを構築することで、産業廃棄物の適正処理を推進し、県民の廃棄物処理への信頼性を高めること。

予算

R6年度当初予算額	13,013千円
R5年度決算額	14,880千円
R4年度決算額	5,851千円

令和6年度事業内容

1. 排出事業者や処理業者に対して、廃棄物処理の先進事例や処理ルールの説明等の講習会等を開催し、廃棄物の適正処理に向けた普及啓発を行う。
2. 事業者による報告を事業者自らが入力又は提出できる電子報告システム「みやぎ産廃報告ネット」を利用し、産業廃棄物処理業者からの処理実績報告及び多量排出事業者からの処理計画書を求め、ホームページでの公表を行う。
3. 電子マニフェストの普及促進のため、電子マニフェスト講習会を開催する。



事業効果

実績報告の電子報告率、講習会等開催数・参加者数

	R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
電子報告率	69.2%	77.5%	78.5%
開催数・参加者数	7回・524名	6回・131名	6回・150名

担当部署

環境生活部 廃棄物対策課

TEL : 022-211-2463

E-mail : haitaig@pref.miyagi.lg.jp

URL : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/haitai/index.html>

【No.26】産業廃棄物適正処理監視指導員設置事業

事業目的

各保健所及び支所に産業廃棄物適正処理監視指導員（以下「産廃Gメン」という。）を設置することにより、本県における「産業廃棄物の不法投棄、野焼き等の不適正処理の未然防止」、「早期発見及び不適正処理に対する迅速かつ適切な指導」を行い、産業廃棄物の適正処理を推進する。

予算

R6年度当初予算額	36,279千円
R5年度決算額	31,261千円
R4年度決算額	26,752千円

令和6年度事業内容

産廃Gメンは、産業廃棄物の不法投棄、野焼き等の不適正処理の未然防止、早期発見及び不適正処理に対する迅速かつ適切な指導を行っております。

平成24年度まで各保健所・支所に合計12名配置していたが、一層の監視強化のために増員を行い、平成25年度に3名、令和2年度に2名、令和5年度に1名増員の結果、現在18名体制となっている。

【業務内容】

- ① 不法投棄、野焼き等の不適正処理の監視パトロール
- ② 産業廃棄物処理業者への立入調査
- ③ 不法投棄、不適正処理等の事案に係る調査・指導



▲ 産廃Gメンのパトロール車両

事業効果

<県内10t以上の大規模な不法投棄・不適正処理事案の産業廃棄物残存量>
(単位：t)

R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
66,026	調査中	未定

担当部署

環境生活部 廃棄物対策課

TEL : 022-211-2467

E-mail : haitaif@pref.miyagi.lg.jp

URL :

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/haitai/hutai-04.html>

【No.27】産業廃棄物不適正処理対策交付金

事業目的

廃棄物処理法上、政令指定都市は県と同等の権限を有しており、仙台市内の産業廃棄物の適正な処理の促進に関する事業については、仙台市が実施することになるため、不法投棄等不適正処理の根絶に向けた監視活動にかかる経費として、交付金を交付するもの。

予算

R6年度当初予算額	21,752千円
R5年度決算額	21,752千円
R4年度決算額	27,351千円

令和6年度事業内容

1 不適正処理監視事業

不適正処理の監視強化及び抑制を図る。

- ・監視カメラの維持及び管理
- ・産廃Gメン配備
- ・パトロール車の維持及び管理
- ・民間委託による休日等パトロールの実施等
- ・PCB 廃棄物訪問調査



◀ 産廃Gメンによるパトロールの様子（左）
市内に設置している監視カメラ（右）

2 不適正処理防止啓発事業

広く一般市民に対して、廃棄物問題への関心と適正処理に対する関心を高めるための情報提供等を行う。

- ・周知啓発物作成
- ・講演会の開催
- ・啓発交通広告



▲ 啓発交通広告（仙台市営地下鉄車内）

事業効果

仙台市内で新たに発覚した 10t 以上の不法投棄件数、投棄量（単位：件、トン）

R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
0 件、0 トン	0 件、0 トン	0 件、0 トン

担当部署

環境生活部 循環型社会推進課

TEL : 022-211-3207

E-mail : junkanj@pref.miyagi.lg.jp

URL : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/>

[No.28] 産業廃棄物等処理実態調査事業

事業目的

宮城県循環型社会形成推進計画の進行管理や産業廃棄物税の導入効果の検証を行うため、産業廃棄物の排出・処理状況等について経年的・継続的に把握するもの。

予算

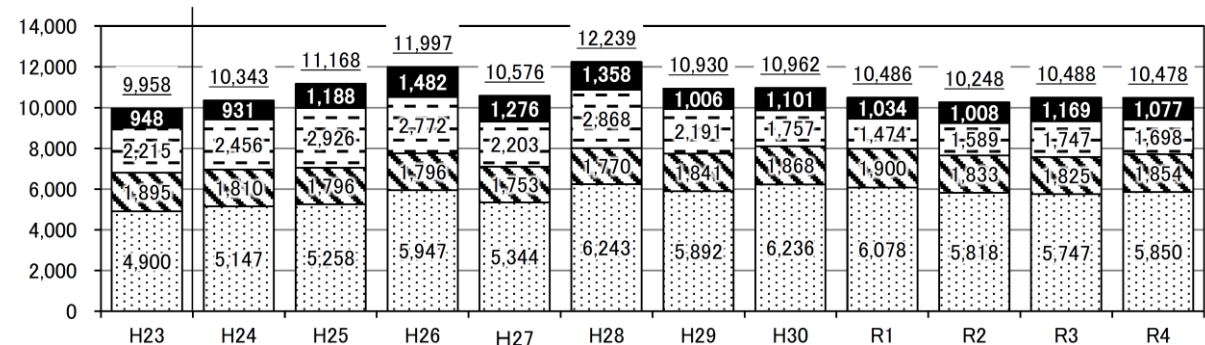
R6年度当初予算額	2,981千円
R5年度決算額	8,008千円
R4年度決算額	1,672千円

令和6年度事業内容

宮城県循環型社会形成推進計画（第3期）の進行管理や産業廃棄物税の導入効果の検証を行うため、産業廃棄物の排出・処理状況等についての調査を行う。

令和5年度に実施した大規模調査を補完する実態推定調査のほか、令和2～4年度のCOVID19流行影響について解析する。

(単位:千t/年) ■その他 □がれき類 ▨家畜ふん尿 □汚泥



産業廃棄物排出量の推移（種類別）震災分含む

事業効果

産業廃棄物排出量推計値（単位：千t）

R4年度(実績)

10,488

R5年度(実績)

10,478

担当部署

環境生活部 循環型社会推進課

TEL : 022-211-2649

E-mail : junkanr@pref.miyagi.lg.jp

URL : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/sanpai-index.html>

【No.29】海岸漂着物等地域対策推進事業

事業目的

宮城県内の海岸の良好な景観及び環境を保全するとともに、今後の海岸漂着物等の発生抑制対策を行うことにより、現在及び将来の県民の生活と生産活動を支えるための環境整備を推進する。

予算

R6年度当初予算額	2,680千円
R5年度決算額	961千円
R4年度決算額	427千円

令和6年度事業内容

- 1 宮城県内海岸の漂着ごみ組成調査**
今後の宮城県の海岸漂着物対策を進めるため、モニタリング調査を行い、基礎情報を集めるとともに、今後の経年変化を把握する。
- 2 宮城県海ごみ環境教育学習**
海岸漂着物等に関する環境教育推進のため、沿岸部で活動しているボランティア団体等の有識者を講師として派遣し、子供が環境教育を受ける機会を増やす。
- 3 宮城県ごみ拾い「見える化」ウェブページ運営**
海洋プラスチック等ごみの発生抑制を推進するため、ごみ拾いアプリSNSピリカと情報連携した宮城県ごみ拾い「見える化」ウェブページを運営し、清掃イベントや活動状況の把握と清掃活動実施者のモチベーション向上や新規参加者の取りこみを図る。



事業効果

海岸漂着物等組成調査結果

R4年度(実績)	R5年度(実績)
673個・1370L・105kg	512個・2177L・350kg

担当部署

環境生活部 循環型社会推進課

TEL : 022-211-2649

E-mail : junkanj@pref.miyagi.lg.jp

URL : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/kaiganhyouchaku.html>

【No.30】産業廃棄物処理業と地域との共生等推進事業

事業目的

産業廃棄物処理業は、地域を支える重要なインフラ産業である一方、一部の不適正処理事案などによって、同業種に対する一般の理解が進んでいるとはいえない状況にある。そこで、産業廃棄物処理業者からなる団体による、業界のイメージアップのための自主的な取組を促すことにより、同業種に対する県民理解の向上と同業界全体の振興を図り、もって県内における産業廃棄物のさらなる処理体制・能力の確保と、適正処理や3Rの推進を通じた循環型社会の実現を目指す。

予算

R6年度当初予算額	1,500千円
R5年度決算額	—
R4年度決算額	—

令和6年度事業内容

産業廃棄物処理業者の関係団体が、業界のイメージアップに向けて次のような取組を行う場合に、その費用の一部を補助するもの。(補助率 1 / 2)

- (1) 廃棄物処理業界全体の資質向上に関する、労働安全衛生や働き方改革等の講習会の開催
- (2) 県民に対する産業廃棄物処理業の理解促進・イメージアップ・普及啓発のための環境学習教室、環境イベント等の開催。また、その実施に必要な啓発資材等の作成
- (3) 地域貢献活動としてのボランティア活動
- (4) その他産業廃棄物処理業界のイメージアップに資する活動として知事が必要と認める事業



事業効果

補助対象となる取組の件数 (単位: 件)

R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
0	0	5

担当部署

環境生活部 廃棄物対策課

TEL : 022-211-2463

E-mail : haitaig@pref.miyagi.lg.jp

URL : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hitai/index.html>

【No.31】産業廃棄物処理業者と連携した災害廃棄物処理体制構築推進事業

事業目的

大規模災害時に発生する膨大な量の災害廃棄物を円滑に処理するため、技術的知見を有する民間の産業廃棄物処理業者との積極的な連携と活用を図る体制を構築する。
また、地域ごとの産業廃棄物処理業者の処理可能量を市町村に展開し、市町村の災害廃棄物処理体制の構築を支援する。

予算	
R6年度当初予算額	1,400千円
R5年度決算額	—
R4年度決算額	—

令和6年度事業内容

1 処理可能な廃棄物の種類・量の把握

産業廃棄物処理業者が加盟している関係団体と連携し、地域ごとに処理可能な廃棄物の種類・量を把握するための調査を実施する。

2 災害廃棄物処理プラン（案）の作成

地域における災害廃棄物発生量の推計値を踏まえ、当該地域における産業廃棄物処理業者の処理可能量を割り振った処理プラン（案）を作成する。

3 市町村災害廃棄物処理計画の実効性の確保・広域処理体制の構築

処理プラン（案）を市町村に展開し、市町村災害廃棄物処理計画との調和を図るとともに、域内処理が完結できない災害廃棄物について、広域処理体制の構築に向けた意見交換を実施する。



事業効果

調査対象事業者数	(単位：社)	
災害廃棄物処理プラン	(単位：地区)	
R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
—	—	280社、1地区

担当部署

環境生活部 廃棄物対策課	
TEL : 022-211-2648	E-mail : haitais@pref.miyagi.lg.jp
URL : https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/haitai/index.html	

【No.32】産業廃棄物最終処分場整備事業

事業目的

県内の産業廃棄物処理を安定的に行い、環境負荷の少ない経済活動を持続させるため、公共関与による新たな産業廃棄物最終処分場を整備することを目的に、整備主体である公益財団法人宮城県環境事業公社に対して整備費用の一部を財政支援するもの。

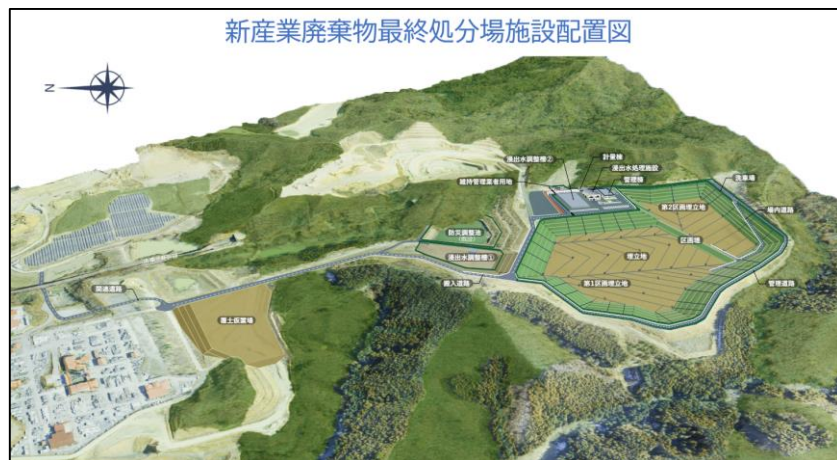
予算

R6年度当初予算額	125,000千円
R5年度決算額	—
R4年度決算額	—

令和6年度事業内容

◆宮城県産業廃棄物最終処分場整備対策事業費補助金 125,000千円

公益財団法人宮城県環境事業公社が取り組む
管理型産業廃棄物最終処分場整備に要する費用への助成



事業効果

県内で新たに発覚した不法投棄件数

R3年度

R4年度

R5年度

1

1

0

担当部署

環境生活部 新最終処分場整備対策室

TEL : 022-211-3165

E-mail : saisyuse@pref.miyagi.lg.jp

URL : https://www.miya-kan.or.jp/jigyo_naiyo/seibi/